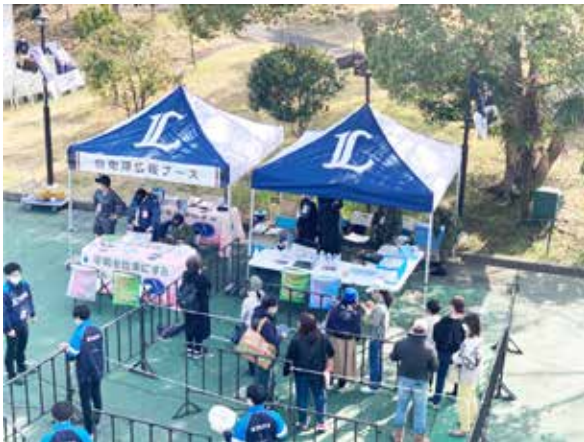




埼玉地本リーグ開幕戦にブルーインパルスを招致



埼玉地方協力本部（本部長 高田一空佐）は、令和4年3月25日（金）プロ野球リーグ開幕戦埼玉西武ライオンズ×オリックス・バファローズにブルーインパルスを招致した。

晴れ渡る青空に6機編隊を組んだブルーインパルスが真っすぐに通過すると大きな歓声が沸き起こり、多くの人々に希望、感動を与えてくれた。入間基地航空祭が新型コロナウイルス感染症対策のため2年間実施されなかったこともあり、所沢市周辺のブルーインパルスの飛行を待ちわびた航空ファンに喜びを届けた。

また、西武球場前駅改札口付近に埼玉地本の広報ブースを設置し、VR体験、グッズ配布、アンケート回収、各種説明を実施した。VR体験はゴーグルを着用してパイロット目線で飛行体験ができるものであり、大変好評だった。サブライズ企画で、ブルーインパルスバイロットからツアーパンフレットの配布が行われ、手にした来場者は大変感激した様子だった。さらに、埼玉西武ライオンズ開幕戦イベントのステージに埼玉地本マスケットキャラクター「サイボン」が参加し、埼玉西武ライオンズマスケットと共にダンスを披露する等開幕イベントを大いに盛り上げた。

埼玉地本は、「今後も地域に密着した親しみのある広報に努め、自衛隊の活動をPRしていきます。」との意気込みを見せた。

久喜市立桜田小学校「総合的な学習の時間」の協力

自衛隊埼玉地方協力本部（以下「埼玉地本」）さいたま地域事務所（所長 山本3陸佐）は、令和4年5月7日（土）久喜市立桜田小学校において、六年生児童約130名と教職員等に対し、総合的な学習の時間の協力をを行い、防災講話及び装備品の展示を実施した。

本協力は、学校及び桜田おやじの会の依頼により実施したものであり、当日、久喜市長も訪れ、自衛隊災害派遣活動の紹介や災害対処方法「自助・共助・公助」についての講話を行った。講話後には、自衛隊の救急法及びロープワークの実技講習を実施し、積極的に体験する児童等の姿が見られた。

装備品「中型トラック・野外炊事具2号・水タンクトレーラ・偵察バイク」展示においては、普段見ることのできない装備品に興味津々でながめており、またミニ制服試着では順番待ちの行列が出来た程人気を集めた。

今回、このような地域の学校等からの要望に対し、部隊と連携して対応することにより、児童生徒や教職員をはじめ地域住民等の理解促進を図ることができた。埼玉地本は、今後も自衛隊への理解促進を図るための活動や支援等を積極的に実施していく。

